

## 堺市南区基本計画（案）についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
1	<p>みみちゃんルーム利用者の駐車場料金について、現状の1時間無料では利用実態に合わず、実質的に自己負担が生じる状況があるため、子育て支援の観点からも、みみちゃんルームの利用者の駐車場料金を無料にしてほしいです。</p>	<p>南区役所では、第1駐車場及び第2駐車場を利用される来庁者に対して、駐車料金を1時間まで無料とする取り扱いを行っています。</p> <p>また、障害者手帳をお持ちの方については、利用時間全体を無料としています。</p> <p>この取扱いは、窓口での手続きに来庁した方に限らず、みみちゃんルームを利用される方や、ギャラリー・みなみかぜ食堂を利用される方も同様としています。</p> <p>一方で、駐車場利用者の無料時間については、公共交通機関を利用される方との負担のバランスを考慮する必要があります。この点から、現在のところ無料時間の拡大などの見直しは予定していません。</p> <p>ご不便をおかけする面があることは承知していますが、こうした考え方に基づき運用していることについて、ご理解をお願いするものです。</p>
2	<p>子育て分野の評価指標について、市民意識調査は回答率が約36%と低く、70代以上の回答割合が高い一方で、20～30代の子育て世帯の回答が少ないなど、年齢構成に偏りが見られます。そのため、同調査結果のみを指標として用いることには妥当性に課題があると考えます。子育て世帯の意向をより適切に反映するため、子育て関連イベント参加者へのアンケートなど、多様なデータの活用を検討する必要がありますと考えます。</p>	<p>「子育てしやすいまち」であることが、実際に子育てをしている世帯だけでなく、あらゆる世代の共通認識として定着することは、南区の魅力を発信する上でも重要であると考えています。</p> <p>子育ては家庭だけで担うものではなく、地域全体でこどもを育み、世代を超えたつながりの中でこどもの成長を見守ることが、「子育てしやすいまち」につながると考えています。</p> <p>一方で、現役の子育て世代にとってより魅力的な事業を展開するため、子育てイベント参加者へのアンケートを実施し、その結果を今後の施策に反映したいと考えています。</p>
3	<p>南区ブランドについて、親しみやすいデザインであり、周知に活用できる可能性があると感じました。認知度向上のため、単価が比較的低く、大量配布が可能なうち等のグッズを製作し、夏祭りなどのイベントで配布することを検討してはどうかと考えます。</p>	<p>ご提案のうち等の比較的低コストで大量配布が可能なグッズについては、イベント来場者の興味を引きやすく、地域行事での活用によって認知度向上に一定の効果が見込めるものと考えています。</p> <p>一方で、グッズ制作にあたっては、費用対効果や配布対象や機会の妥当性などを踏まえて検討する必要があります。</p> <p>南区では、ブランドの浸透に向けて継続的に工夫を行っているところであり、いただいたご意見も参考にしながら、今後の取組の中で効果的な発信方法の検討を進めます。</p>
4	<p>子育て施策については、就学前教育と義務教育の段階では求められる支援内容が異なることから、両者を区別したうえで方針を整理するか、子育て分野内で段階を示すなど、明確に位置づけることが望ましいと考えます。</p>	<p>多様化する子育てニーズに対応できるよう、ライフステージに合わせた「切れ目のない支援」の充実をめざしています。こどもの成長段階に応じた施策をさらに充実させ、それらが必要とされる方々に確実に届くよう、関係機関や小・中学校との連携を一層強化するとともに、広報・周知にも努めます。</p>

5	<p>公園管理について、夏に雑草が生い茂り、子どもが安全に遊べる場所が限られると感じています。夏季の生育速度を踏まえると、現行の実施頻度では十分でない印象があります。夏季にも一定の頻度で草刈りを行うことで、より利用しやすい環境につながると考えます。</p>	<p>南区の公園や緑道では、年間3回の草刈り（1回目：5～6月頃、2回目：7～8月頃、3回目：10～11月頃）を実施しています。</p> <p>ただし、草の生育状況や天候、作業の進捗状況により、時期が前後する場合があります。</p> <p>利用される皆様にはご不便をおかけしますが、適切な維持管理に努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
6	<p>避難所の確保については、想定される大規模地震に備えるため、遅くとも令和12年度までには必ず完了すべきと考えます。</p>	<p>大規模地震に備えた指定避難所を市内で162箇所確保しております。</p> <p>今後も内閣府の「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」に基づき、関係機関と連携しながら取組を進めます。</p>
7	<p>40歳以上の健康診断受診率向上について、現行制度では受診しないという選択ができる状況であるため、改善が必要と考えます。</p> <p>他の自治体では申込書を送付し、辞退する場合には理由を記載した書面の提出を求める仕組みを導入しており、こうした方法を参考に、受診率を向上させる仕組みの検討を要望します。</p>	<p>南区では、40歳以上の方の健康診断受診率を高めるため、市の取組に加え、区独自の取組を進めながら、受診につながる機会の向上に取り組んでいます。特に「みなみ健活キャラバン」は、健康にあまり関心がない方にも気軽に立ち寄れるよう、多くの区民が集まる地域のイベントに参加し、血圧測定や保健師・栄養士の個別相談を行い、「健康への第一歩」を踏み出せる機会として取り組んでいるところです。</p> <p>このほか、未受診者への個別推奨や地域での健康教育の実施、保健師や栄養士の個別相談、事業所との連携強化など、様々な取組をしながら、特定健康診査の受診行動につながるよう環境整備を進めています。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>南区のブランド力向上の1番の問題は、南区自体に独立して物事を決める権限が少なすぎて結局は全て堺市全体の決定を疑わなければいけない点にあると思われる。南区自体が自治ができないと言う点が南区民が南区に対して特別な思いを持ってない理由だと思う。それから南区には農村地帯が多くあり、それらの地域では昔からの自治体の力が強く残っており、外の中ではまだまだ民主主義とはかけ離れた力関係や影響力があるため住民としてはそれぞれの自治会、南区、堺市、大阪府、国といった多い場合であれば4重、5重ともなる行政構造が見られ、一般的に言われる2重行政よりもさらにややこしいこともある。それなのに堺市は自治会に入りましようと言うふうは無責任に謳っていることにも甚だ疑問を感じる。</p>	<p>南区のブランド力向上や魅力発信については、市全体の方向性を踏まえつつ、南区が地域の実情に応じて対応するものと考えています。</p> <p>地域ごとの課題や事情を丁寧に把握し、関係機関と連携を図りながら、区民の皆様が自分の住んでいる地域に愛着が持てるよう南区のブランド力向上に取り組めます。</p>
9	<p>南区の子育て環境に対しては、それぞれの自治会が独立している部分もあり、例えばどこかで子ども食堂が行われていても、自分の住んでいる地域以外の子ども食堂に行くにはハードルが高い。</p>	<p>それぞれの地域で実施している子育て関連事業のうち、一部には自治会加入などを利用条件としているものもあります。しかし、多くの事業は地域を限定しておらず、他の地域にお住まいの方でも気軽にご利用いただけます。こうした点について、今後も周知に努めます。</p>

10	<p>南区には公園はたくさんあるが、車でアクセスしやすく無料で駐車ができ、子どもを遊ばせられるような公園がない。</p>	<p>南区の晴美公園、御池公園、荒山公園（梅と桜の開花時期除く）には無料で利用できる駐車場を備えています。また大蓮公園と原山公園には有料駐車場を備えています。</p> <p>その他の公園にお越しの際は、公共交通機関又は近隣のコインパーキング等をご利用いただくようお願いしております。</p> <p>皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>
11	<p>外国人を含めた多様化も推進しているが、南区はもとも団地以外の賃貸住宅が非常に少なく、気軽に外国人が住みにくい環境である。よって他地域に比べて外国人をかける割合が非常に低い。それも含め引越しを考える日本人が南区を選ぶこともあり、本当に外国人が増えることを現住民が望んでいるのかは疑問である。</p>	<p>いただいたご意見は今後の区政の参考とさせていただきます。</p>
12	<p>自然の高さを売り物にしているが、若松台中学校から泉ヶ丘駅に向かう道路沿いの立派な木を全て伐採し影がなくなった事は非常に悲しいし、夏場は非常に暑い。それらの方針が、どのようにして決定されたのかが、不明瞭である。事前にどのような議論が行われどのように決定されたかも広報などを通して発表されていたのだろうか。</p>	<p>堺市では平成29年より「泉北ニュータウン街路樹更新事業」（以下更新事業）に着手し、泉北ニュータウン内の街路樹について計画的に更新を進めています。</p> <p>ご指摘の路線は更新事業の計画路線であり、歩道ではクスノキが大木化し、根上り等による通行機能障害が発生していました。そのため、事業の進め方に基づき、大木化したクスノキをクロガネモチへ植替え、沿道の公園・樹林地と重複する箇所や歩道幅員が狭い箇所につきましては撤去することとしました。</p> <p>工事に先立ち、関係各所に事業や工事の内容について説明し、ご理解をいただいています。</p> <p>なお、「泉北ニュータウン街路樹更新事業」につきましては、堺市HPに詳しく記載しておりますので、ご参照をお願いします。</p>
13	<p>計画文書における年次表記について、元号のみの記載では分かりにくく、将来年度との関係が把握しづらいと考えます。文中に「堺市基本計画 2030」とあるものの、何年後のことか直感的に理解しにくいいため、元号と西暦を併記し、分かりやすい表記としてほしい。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、該当ページの「堺市基本計画 2030」と堺市南区基本計画の計画年度の関係性をわかりやすくするよう、和暦・西暦を併記します。</p>
14	<p>南区に所在する障害者関連施設について、現行の基本計画では記載が見当たらず、計画の対象外となっているのか不明です。</p> <p>御池台の支援学校に加え、堺市立つぼみ園、大阪障害者職業能力開発校、ファインプラザ大阪など、地域に関わる施設が複数存在します。障がいのある方も地域で共に暮らせる南区を目指す観点から、これらの施設に関する記載を計画に盛り込むことを要望します。</p>	<p>南区には、障害のある方の学び・自立を支える複数の施設があり、地域において大切な役割を担っていると認識しています。</p> <p>本計画は、区の将来像の実現に向けた方向性を示すものであり、区内のすべての施設を網羅的に記載するものではありませんが、ご指摘の趣旨とおり、障害のある方が地域の施設や社会資源を活用し、住み慣れた地域で安心して主体的に暮らせることは重要です。</p> <p>いただいたご意見は、今後の区政の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>桃山教育大学の南区撤退に関し、市および南区との連携</p>	<p>桃山学院大学との統合に伴う桃山学院教育大学の和泉キ</p>

	<p>が十分でなかった可能性があると考えます。撤退に際して、事前協議や協力依頼がどの程度行われたのか不明であり、今後は大学との連携体制を強化し、今回の事例を教訓として、他大学との協働や地域との関係構築に生かすことを要望します。</p>	<p>キャンパスへの移転については、大学側から事前に報告を受けており、統合による教育・研究体制の一層の充実など将来展望を見据えたものと伺っています。</p> <p>大学との連携により、人材確保や専門的な知見の共有、更には産学官連携による多様な取組を進めることは重要であると認識しており、いただいたご意見を参考に、引き続き大学との連携を強化し、取組を進めます。</p>
16	<p>南区泉田中における市立児童自立支援施設の建設中止後、跡地の活用方針が示されておらず、市外の施設を利用している実態があり、地域の活性化に向けた対応が停滞している状況です。</p> <p>基本計画において跡地の利活用方針を明確に位置づけることを要望します。</p>	<p>建設予定地は、社会情勢等を考慮し、今後の市政に資する活用方法を検討しています。</p> <p>なお、児童自立支援施設については、こどもたちの将来的に安定した最適な養育環境をしっかりと確保することを前提に、施設整備費用や将来的なランニングコストを考え、より効果的な手法として令和3年1月に締結した大阪府立施設への事務委託継続に係る合意書に基づき、令和6年4月に新寮舎を開所しました。今後も大阪府への事務委託を継続し、関係機関等との連携を密に行うことにより、対象となるこどもたちへの支援充実に努めます。</p>
17	<p>新築建築物において、民法第234条第1項で定める「建物を築造するには境界線から50センチメートル以上の距離を保たなければならない」規定が順守されていない事例が散見されます。</p> <p>こうした違反を防止するため、堺市独自の条例制定を検討することを要望します。</p>	<p>宅地建物取引業者や建設業者の指導・監督、違反行為に対する処分は、国または大阪府が所管しており、堺市独自で不動産業者や建設業者を処罰する条例を制定することは法令上の権限の範囲外となります。</p> <p>いただいたご意見は今後の市政運営の参考とさせていただきます。</p>
18	<p>路上喫煙やポイ捨ての禁止を徹底してほしい。</p>	<p>本市では「堺市安全・安心・快適な市民協働のまちづくり条例」（平成21年施行）に基づき、公共の場所（道路、広場、公園等）において喫煙をしないように努力義務を課し、吸い殻や空き缶、紙くず等のポイ捨てを禁止しています。本条例では「路上喫煙等禁止区域」を指定して、区域内に指定喫煙所を4か所設置しています。また「堺市路上喫煙等マナー向上に関する要綱」（平成26年施行）に基づき、「路上喫煙等マナー向上重点啓発区域」を指定し、各区域に指定喫煙所を設置しています。本市では喫煙者のマナーやモラルの向上が最重要と考えており、今後も路上喫煙やポイ捨ての防止に向け、主要駅前での啓発看板の設置や様々な広報媒体を活用した啓発活動に粘り強く取り組めます。</p>
19	<p>「歩行者自転車専用道路標識」が設置された道路において、警察の許可を得ていない車両やバイクの走行が横行し、取り締まりが十分に行われていない状況に懸念があります。</p> <p>通行許可証を掲示していない車両への取締り強化に加え、警察による戸別訪問や自治会回覧板・掲示板を活用した啓発を求めます。また、標識の必要性や時間指定の追加、</p>	<p>歩行者・自転車専用道路の安全確保は重要な課題と認識しており、警察の許可を得ていない車両や通行許可証を掲示していない車両が通行している場合には管轄する警察署に情報を共有し、巡回や指導、法令遵守の周知徹底の実施を申し入れます。また歩行者・自転車専用道路の規制の継続や時間指定・休日解除については地域の要望に応じて適切に対応します。今後も安全で快適な通行環境の確保に努</p>

	土日解除など、道路交通規制の見直しを検討することが望まれます。	めます。
20	上神谷支援学校前の道路で、通学バスや放課後等デイサービスの送迎車による渋滞や事故が日常化しています。交通の円滑化と安全確保のため、同校の門扉を開放するなど、動線の改善策を検討してほしい。	いただいたご意見につきましては、上神谷支援学校と共有させていただきます。
21	夜間に暴走する車やバイクによる騒音がひどく、治安悪化の要因となっています。 こういった行為を撲滅するため、一斉取締りを要望します。	いただいたご意見は警察等関係機関に情報共有させていただきます。
22	大蓮公園の遊具が古く、幼児向けであるため、公園としての魅力が不足していると考えます。錦織公園のように地形を活かした遊具を設置するなど、大蓮公園を充実させてほしい。	現在の遊具はこども向けのもので中心となっています。幅広い年代のこどもが楽しめる公園整備についてもご要望をいただいております。近接する泉ヶ丘公園にて地形を活かした遊具を含めた公園の整備を進めております。 引き続き、安全で安心して利用できる公園管理に努めますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。
23	堺市南区基本計画（案）では、3本柱の一つとして「安心安全な南区をつくる取り組み」を掲げ、「地域のつながりづくり」や「防災力の向上」を示しています。これらの分野は、これまで校区連合自治会に大きく依存してきましたが、南区では自治会加入率が50%を下回っており、従来の枠組みだけでは地域力の維持・向上が難しくなっていると感じています。 そのため、計画（案）に「既存の枠組みを超えた新しい共助の形を確立する」と明記されている点は、ようやく自治会一辺倒の体制では防災力向上が見込めないという現状を行政も認めた表れだと受け止めています。しかし、市としてどのような新しい枠組みを想定しているのかが示されておらず、具体性に欠けていると感じます。 また、仮に連合自治会に加入していなくても、新しい共助の単位が自治防災組織や自治会と同様に行政支援を受けられるのかについても明らかではありません。多様性を尊重することを基本に据えた計画であるのであれば、この点は重要な視点であり、より踏み込んだ記述が求められると考えます。	本市では、すべての市民に対して自治会への加入を促進しており、本市と自治会は車の両輪として、互いに協力しながらあらゆる施策を連携して推進する対等なパートナーであることを基本方針としています。南区においてもこの考え方は例外ではなく、本計画もその前提を踏まえて策定しているため、あえて明記していない部分があることはご指摘のとおりです。 自治会は地域のつながりの基軸であり、地域コミュニティ等の多様なコミュニティを横断し、また地域コミュニティに所属していなかった区民を含めて新たな関係性を構築します。自治会活動の中でも鍵となる枠組みが「自主防災組織」として認識しています。 迫る大規模災害に備え、地域が一丸となって「防災」を共通テーマとして取り組み、安全安心な南区を形成するためには、地域のつながりの中核を担う自主防災組織を強化し、防災力を高めることが重要です。南区としても、自主防災組織の取組を支援する施策が必要であると考えています。加えて、南区の企業や学校、病院、福祉施設など多様な主体と連携し、区民のみならず区外からの在勤者・通学者・来訪者、さらに障害者や傷病者、高齢者などの要配慮者、そして子どもを含むあらゆる世代を誰ひとり取り残さず、安全安心に過ごせる南区の実現に向けて施策を推進します。 南区では、本計画でKPIを示し、自主防災組織をはじめ各企業・学校園等と連携しながら、目標達成に向けて様々な角度から施策に取り組みます。
24	「子育て・教育・健康長寿」に関する取組について、計画（案）に示されている成果指標が具体性に欠けていると感じています。安心して住み続けられる南区を実現するために	「子育て・教育・健康長寿」に係る成果指標のあり方については、計画の分かりやすさと実効性を確保する上で重要な観点であると認識しています。一方、本計画（案）では、南区とし

	<p>は、住民の生活に直結する課題について、より明確な数値目標が必要ではないでしょうか。</p> <p>特に、在宅療養を支える医療サービスについては、今後どれだけ施設や提供体制を充実させていくのか、また、地域で減少し続けている「かかりつけ医」をどのように確保していくのかといった点が、成果指標として示されていません。こうした視点が欠けていることで、計画の実効性や進捗評価が住民にとって分かりにくくなっていると感じます。</p> <p>住民が安心して暮らし続けられる地域を目指すのであれば、暮らしの現場に寄り添った具体的な成果指標を設定し、目標と課題がより明確になる計画とする必要があると考えます。</p>	<p>での重点的な方向性を示すこととしていることから、指標についても、地域の将来像を示すための大きな方向性を示す内容にとどめていますのでご理解をお願いいたします。</p> <p>なお、ご指摘の在宅療養を支える医療サービスの充実や「かかりつけ医」の確保については、医療機関との協働を通じ、身近な地域で安心して暮らし続けられる地域医療の連携に取り組んでいるところです。</p> <p>いただいたご意見は、計画の実効性の評価や住みよい地域としての大切な視点であり、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
25	<p>農業の担い手不足への対応や伐採のみが進み、貧弱になった公園や緑道の再生に向けた取組、高齢者の健康維持にもつながる就労機会の掘り起こしなど、南区にとっての課題が計画の中に十分に触れられていないと感じます。</p>	<p>ご指摘の点については、南区においても引き続き留意すべき観点であると認識しています。</p> <p>一方、本計画は南区としての基本的な方向性を示すことを目的としているため、個別分野に関する詳細な記載については、設けていない部分がございますので、ご理解をお願いいたします。</p> <p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
26	<p>南区の緑道や公園を日常的に利用しているが、泉北ニュータウンの公園や緑道の管理体制が縮小しているという声を耳にすることが増えています。</p> <p>個人による環境美化活動として地域の美化に協力したいが、集めたゴミをどこに置けばよいのか、どのように市に回収していただけるのかが分かりにくいいため、参加のハードルを感じるがあります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、①高齢者でも参加しやすい清掃ボランティア制度の整備、②緑道や公園ごとのゴミ集積場所の明示、③異常報告や軽い清掃など負担の少ないボランティアの制度化、④ロボット技術を活用した緑道清掃の4点を提案します。</p>	<p>現在本市では、公園愛護活動として、地域の方に公園や緑道の清掃について、ご協力いただいています。</p> <p>清掃ゴミの回収は 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）に実施しており、公園や緑道内の分かりやすい場所に袋詰めして置いていただければ、職員が回収いたします。また、泉ヶ丘公園事務所に「どこに置いたか」ご連絡いただければ、確認して回収いたします。</p> <p>また、ロボットに関する技術の進歩については、市としても関心を持っております。</p> <p>緑道での落ち葉清掃やごみ回収、夜間巡回などに活用することができれば、将来的な人手不足への対応として一定の可能性があると考えています。</p> <p>一方で、実際の導入にあたっては、走行環境、安全性、維持管理の方法やコストなど、様々な課題が想定されます。</p> <p>そのため、現時点で具体的な導入予定はありませんが、いただいたご意見は、今後の技術動向を注視する上で参考とさせていただきます。</p>
27	<p>障害当事者の様々な意見等を堺市南区基本計画等南区の施策に反映出来るように、会議の場に当事者枠を設定してほしい。</p>	<p>多様性の尊重は、本計画の基盤となる考え方であり、障害の有無にかかわらず、多様な立場の方々の視点を尊重し、その声を区の施策に生かすことは、本計画でも大切にしている考え方です。今後も、様々な立場の方々の意見が適切に反映されるように取り組みます。</p>
28	<p>3度目の都構想の是非を問う選挙のために、大阪府知事</p>	<p>いわゆる大阪都構想は、大都市特別区設置法に基づき、大</p>

	<p>と大阪市長が辞職されました。</p> <p>そうなれば、大阪都堺区になって、2030年に堺市南区がなくなっているというビジョンも示すべきではないでしょうか。</p>	<p>阪市を廃止、分割して特別区を設置し、広域自治体と基礎自治体の役割分担を明確にし、広域機能を大阪府に一元化する新たな大都市制度と認識しています。政令指定都市に移行して20年の節目を迎える本市では、効果的かつ効率的な区行政を推進しており、これまでもこの議論には入っていません。</p>
29	<p>区内には、ギャンブル施設であるパチンコ店が6店舗以上あり、さらに、大阪府市にカジノが誘致されるので、区民のために「ギャンブル依存症対策」を計画に盛り込んでほしいです。</p>	<p>ギャンブル等依存症については、「堺市依存症地域支援計画」に基づき、全市的にこころの健康センターが専門相談を実施しています。</p> <p>そのため、本計画（南区基本計画）には記載しておりません。</p> <p>南区役所も引き続きこころの健康センターと連携して支援を行います。</p>
30	<p>多様性の尊重、受け入れは全国的に「堺市南区は危険地区」だと認識される。</p> <p>危険地区と認識されれば転入者は減り、逆に転出者が増えると容易に予測できる。</p> <p>強盗・障害、強姦等の犯罪率増加は当然、さらに土葬という名の死体遺棄事件も増える。</p> <p>堺市南区は川口市、福岡市の犯罪例に見て、安全だと胸を張って云えるのか。</p> <p>南区民に対し「多様性を受け入れた結果、人災（犯罪）に対する安全・安心」をどう確保しているのか、人災保障や多様性の管理方法等を提示し、それを南区民が納得しない限り多様性の尊重に賛同できない ※今以上に警察・消防が疲弊する状態に陥る。</p> <p>堺市南区へ移住すれば多くの利点があることをアピールしてほしい。</p> <p>例えば堺市内で挙式し、引っ越し等堺市に関連する企業を利用した、堺市へ移住（定住した）する場合に補助金等を出す。また他市からの移住者には補助金に加え堺市内の店舗で使用できる金券や割引券等の配布等々。。</p> <p>・安易に多様性に走らず「（人災がない）安全・安心」を全面に押し出せば魅力ある市になる</p> <p>（結論）</p> <p>・計画案の「多様性の尊重」では未来は無く幸福もない</p> <p>・「国籍、育った環境、価値観等の違い」等の多様性方針は廃止しなければならない</p> <p>・堺市南区は危険地区と認識されれば、地価が下がる</p>	<p>多様性の尊重は、すべての住民が安心して生活するための基盤となる考え方であり、互いの価値観を理解することは、地域の安全・安心に資するものと考えています。</p> <p>引き続き南区が安心して暮らせる地域であり続けるよう取り組みます。</p>

<p>31 南区の豊かな自然環境は、子どもをのびのび育てたい家庭にとって大きな魅力であり、今後も積極的に活かすべき強みである。</p> <p>一方、今後は世代交代に伴う空き家の増加が見込まれる中、都市部のマンション価格高騰も背景として、自然環境に恵まれ、比較的取得しやすい価格で一戸建てを持てる地域への関心は高まっている。実際に、近隣市の大規模分譲地では、交通便利性が必ずしも高くないにもかかわらず、同世代の子育て世帯が多いことや手ごろな価格であることを理由に多くの転入が見られる。</p> <p>これらを踏まえ、南区においても、子育て世帯の住宅取得や移住に対する補助制度の充実、空き家・未利用地を活用した住環境整備を進めることで、子育て世帯の転入促進につながると考える。また、駅前など利便性の高いエリアにある公営住宅については、将来的な集約・再編を行い、戸建住宅用地として再整備することにより、若年世代の定住促進に寄与する可能性と思う。さらに、南区の自然資源を活かしたアウトドアやスポーツイベントの開催は、親子で楽しめる機会を創出し、地域の魅力発信や交流人口の増加につながると考える。</p> <p>一方で、緑道や公園においては、樹木の繁茂による見通しの悪さや暗さから、特に子ども連れでの利用時に不安を感じる場所がある。クビアカツヤカミキリ被害への対応とあわせ、適切な伐採・剪定・植え替えを行い、安全・安心に利用できる環境整備を求めたい。量としての緑のみならず、子どもと安心して利用できる「質の高い緑」を重視したまちづくりの推進を強く要望する。</p>	<p>泉北ニュータウンでは、公的賃貸住宅の集約・建替えにより生み出した土地や既存住宅ストックを活用し、現代のニーズに合った住宅を供給することで、若年層・子育て世代を誘導するよう大阪府や UR 都市機構、府住宅供給公社などの各住宅事業者と連携して取り組んでいます。駅前周辺においては立地特性や市場の需要に応じて多様な住宅を誘導することで定住を促進し、駅前地域の更なる活性化を推進します。</p> <p>一方で、公園や緑道における樹木の過密化、高木化による見通しの悪さ、日陰の多さなど、日常の安全性に関するご指摘については、特にお子さま連れでのご利用時に不安を感じられるとお声を真摯に受け止めています。安全に利用できる環境の確保に向けて、見通しの改善につながる間伐や剪定、近年被害が拡大しているクビアカツヤカミキリへの対応を順次進めているところです。</p> <p>また、量としての緑を維持するだけでなく、市民の皆さまが安心して利用できる「質の高い緑」の確保が重要であると考えています。いただいたご意見は、今後の維持管理の取組に活かしてまいります。</p>
---	--